

国語プリントNo. ( )

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

「ホタルの里」づくり 起(結)・承・承・承 作文

段落の構成、事実と意見の判断をするために、『ホタルの里』づくりの文章を以下の構成枠に当てはめて書き直してみよう。

点目がある。

起 (結論・意見)

理由は二点ある。一点目は ( )  
二点目は ( )

承 (まとめ)

以上のように人工的な「ホタルの里」づくりは、  
( )。今都市に必要なのは、  
( )

承 (事実 2)

二点目の  
( )  
について説明する。  
( )

承 (事実 1)

一点目の  
( )  
について説明する。  
( )

## 起（結論）《意見》

今勧められている「ホタルの里」づくりには、賛同できない。理由は二点ある。一点目は継続が難しいということである。二点目は意義が無いということである。

## 承1《事実》

一点目の継続が難しいということについて説明する。「ホタルの里」作りはなかなか続かない。労力と費用がかさみ、ホタルが好きな人でないと続かない。「ホタルの里」はいつの間にか消えていってしまう。

## 承2《事実》

二点目の「ホタルの里」を作る意義がないということについて説明する。「ホタルの里」にはホタルしかいない。他の生物はホタルの餌しかいない。つまりホタルは見世物となっている。見世物からは幽玄な趣や感動は呼び起こされない。

## まとめ《意見》

人工的な「ホタルの里」づくりは、思想を欠いている。理由は二点ある。一点目は、都市に今必要なのはホタルの住める「自然」であり、その自然と触れ合うことである。二点目は、「ホタルの里」作りが目指さなければならないのは、ホタルが自生できる環境をつくることである。